

授業改善等に関する報告書（2021 年前期）

授業アンケートへのフィードバック

平成 28 年度より、学内で使用されている LMS (Lerning Management System) manaba 上で学生が回答した授業アンケート内容に対し、教員がコメントする形式を採っている。

次ページ以下に、それらの「授業アンケートへのフィードバック」をまとめて掲載し、授業改善等に関する報告とする。

【2021（前期）人間社会学科 現代社会学科】授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
女性と労働	山根純佳	本授業の理解の割合として「十分に理解できた」の回答が6.1%のみだったため、よりわかりやすい説明と質問時間の確保に努めたい。
演習ⅡA	山根純佳	この授業をとおして自分の成長を感じた「とてもよくあてはまる」との回答が36%にとどまっているので、より多くの学生に成長を実感してもらえるよう工夫したい。
経済発展論	角本伸晃	この授業は経済理論的にかなり難しい内容が含まれていますが、履修者全員が単位を修得することができたことをうれしく思います。新型コロナウイルス感染拡大によって今年度も外部講師をお招きすることができなかったため、来年度こそはお招きしたいと思います。
英語コミュニケーションⅡA	シオティーノ、安時田朋子	授業方式が様々であり、学びにくいことも多かったかもしれません。しかし、時間をかけて予習復習をして授業に臨んだようですね。これは英語のスキルアップにつながったのではないかと思います。後期も引き続き頑張りましょう！
演習ⅡA	高橋美和	ほぼ平均値と一致しており、数値的には問題なさそうです。自由記述によれば、昨年度と異なり対面実施が多かったことはクラスメイトとの人間関係構築の上で良かったようですね。個人発表がかなりの「試練」であったが「乗り越えた」喜びを書いてくださる方もいました。レポートの書き方が身についたという記述も多数で、報われたと思います。課題に意欲的に取り組み、納得するまでmanabaで質問をくださる方などもあり、こちらとしてもやりがいがありました。ありがとうございます。
演習ⅢA	山根純佳	予習時間にばらつきがあるので、学生さんの状況の把握につとめたい。
法律学	金津謙	貴重なご意見ありがとうございます。毎回のレポートは添削して返却したいのですが、毎週700通のレポートを採点するだけで精一杯でした…何かしら工夫する必要があると思います。
演習ⅣA	高木裕子	コロナ禍での就活等で忙しかったと思いますが、次回は是非ご回答ください。
演習ⅣA	阿佐美敦子	今期は回答者数が3名と非常に少なかったため、クラス全体がどのような感想を持っているのかはわかり兼ねますが、皆さんは厳しい状況下で就活と学業、さらにはアルバイトもしなければならぬこともあり、苦労されたと思います。後期は卒論執筆と一緒に頑張っていきましょう。できる限り良いものを書いていただけるように、私も応援します。
障害者・障害児心理学	佐藤恵美	皆さん、本講義を受講していただき、ありがとうございます。オンデマンドだったので、だいぶ資料作成に時間がかかってしまいましたが、わかりやすいという評価でありたいです。今後の授業でもお会いするかもしれませんが、よろしく願いいたします。
演習ⅡA	原田謙	授業の内容と方法に関する評価は、すべて4.7点を超えており、総合評価も4.73点と比較的高評価でした。とくに、レジュメの作成やプレゼン方法など「自分の成長」を実感してくれたようです。また対面でのディベートも新鮮だったようです。ぜひ学んだ方法を、他の授業でも活かしてください。
演習ⅢA	広井多鶴子	おおむねいい評価だと思いますが、授業内容の理解という点で、やや低い評価がありました。少々難しいテキストだったからかもしれません。でも、みなさんととてもよく調べて発表してくれました。この調子で頑張ってもらいたいと思います。
演習ⅢA	粟津俊二	セクションⅡの評定値は全て4.5以上、総合満足度の4以上ですので、基本的には授業方法に問題は無いと考えます。Q13「この科目（系・分野）をさらに専門的に学びたいと思いませんか？」が3.25で一番低いのは、ゼミとしては辛いところですが、たぶん、前期は調べるテーマをこちらである程度指定したからかな、と思います。
演習ⅣA	時田朋子	後期はいよいよ卒論を書き上げます。頑張ってください！
演習ⅣA	数野昌三	9/15卒論中間発表の打ち合わせ、9/24卒論中間発表が終了したからといって、気を抜いてはいけません。その時点から卒論作成に向け、重要な時期となります。ファイトでいきましょう！

[2021 (前期) 人間社会学科 現代社会学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
演習Ⅲ A	阿佐美敦子	今期、欠席をする方はいらっしゃらず、皆さんが真摯に授業に臨んでくださったことを大変嬉しく思います。対面とリモートが繰り返される困難な状況下、仲間と力を合わせて本当に頑張りました。その結果、全員が自分の成長をできたと回答されています。また、総合的な満足度も最高評価を受けることができ、後期もさらに充実の授業が展開できるよう努力します。
経済法	金津謙	貴重なご意見ありがとうございます。 毎回のレポートは添削して返却したいのですが、毎週700通のレポートを採点するだけで精一杯でした… 何かしら工夫する必要があると思います。
リーダーシップ論	谷内篤博	説明が分かりにくいとの点数がやや高いので、今後は学生視線にたった分かりやすい授業を心掛けたい。授業の1マイルで、質問タイムを設定したり、学生同士の説明し合う時間をとっていきたい。
演習Ⅱ A	吉田雅彦	途中でzoom授業が入り、昨年から友達とも会えない日々が続いていますが、東急ハンズでの課題研究、グループに分かれてのディベート、キャリアデザイン課題に、落伍者もなく、良く取り組みました。
心理学研究法	松浦常夫	対面でやれなかったのが残念です。
共生支援論	高木裕子	対面ではあまり授業ができず、ZOOMや課題での学習でしたが、「共生」「支援」という限りはやはり「対面」であるべきだと思います。映像や実際に身体で表現する等のことができなかつたのがとても残念です。
演習Ⅱ A	井上綾野	就職活動を前に、企業について、受講生のみなさんが以前よりも興味を持つきっかけになってもらえれば幸いです。
演習Ⅳ A	松浦常夫	すべて対面でできなかったのが残念ですが、ズームだとコメントが書けましたね。
現代教育論	中村恵佑	授業の進度や説明の分かりやすさ、声・言葉の聞き取りやすさ、授業の満足度について概ね高評価をいただきました。また、多くの方が授業を通して成長を実感されたとのことで良かったです。今後は、パワーポイント等の授業資料の見やすさや分かりやすさについて更なる工夫をして参りたいと思います。受講いただいた皆様に改めて御礼申し上げます。
演習Ⅲ A	金津謙	貴重なご意見ありがとうございます。
コミュニケーション概論	高木裕子	初めての大学での授業で、また、私も慣れないメディア授業で、環境、準備共に完璧ではありませんでしたが、少しでも皆様方が抱えているコミュニケーション上での問題が解決でき、そのための能力が付けられればと思い、学習課題の内容で工夫はしましたが、次回へ向けては、どのようにその内容をメディア授業で行っていくべきか、環境も含め改善とさらなる工夫をしたいと思っています。
家族社会学	広井多鶴子	オンデマンド授業でしたので、配布資料の分かりやすさが重要だと考えていたのですが、この点はまずまずの評価だったと思います。ただ、質問のしやすさなどの点で、「どちらともいえない」という答えが、やや多めでした。双方向になるような工夫をもっとしたいと思います。
演習Ⅳ A	原田謙	内容と方法の4項目で4.75点、総合的な満足度も4.5点と、比較的高評価だったようです。発表者がきちんと準備してくれたおかげで、オンライン授業でも対面授業と変わらないクオリティを確保できました。最後の半年、自分の成長が実感できるような卒論を仕上げましょう。
情報セキュリティ	駒谷真美	この講義は、2部構成になっていた。前半は、Society 5.0を生き抜くために、最新の情報セキュリティ・情報倫理の基礎を学修し、知識の定着に基づいたソーシャルメディアコミュニケーション(SMC)のスキルを促進した。後半は、企業における情報セキュリティ対策について、PBLに基づくワークショップ形式で課題解決のスキルを体得した。具体的にはアドミューリアム東京(ADMT)の全面的な協力を得て、「コロナ禍におけるADMTのSNS展開」について、チームで第一次提案を行いADMTからフィードバックを頂戴し、最終提案まで完成し、高評価を得ることができていた。 その結果、5時限(17:00~18:40)の疲れる時間帯でも、ZOOM講義でも、履修生自身の理解度や自己採点がかなり高く、「成長を実感できた」「さらに専門的に学びたい」「授業に満足している」と、全項目において全体平均と当該区分平均を上回る評価を得たことは、履修生たちの育ちを見て大変喜ばしい。

【2021（前期）人間社会学科 現代社会学科】授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
演習ⅢA	原田謙	スピード、説明のわかりやすさ、双方向授業の工夫、聞き取りやすさは4.6点を超えており、比較的高評価だったようです。前期は一部オンライン授業という制約もありましたが、各自の発表は充実していました。後期は、個人だけでなくグループワークを中心としたPBLに取り組みたいと考えています。
演習ⅣA	竹内光悦	おつかれさまでした。ぜひ調査系のゼミでもあるので全員の回答が欲しかったです…。とりえず対面・双方向、どちらでもいろいろと卒論指導をしていきますので、後期も頑張りましょう。
企業戦略論	吉田雅彦	内容的には、社会人が学ぶレベルのビジネス書を読み通しました。ほとんどの受講生が、経営学の基本を踏まえて、ビジネス書を読解できるレベルに達しました。自信を持って、他のビジネス書にも挑戦してもらえると、社会に出たときや、就活で役立ちます。
人的資源管理	谷内篤博	評価は4.5前後と大変難しい授業にしては一定の評価を得ていると思う。次年度も高度な内容を学生視線にたつて分かりやすく、解説をしていきたい。
調査・実験データ処理法	竹内光悦	お疲れさまでした。おおむね好意的な意見が多く、オンデマンド支持が強いこともあり、このままでより工夫していきたいと思います。資料に関するコメントはもう少し具体的であると改善しやすいので、機会があれば教えてください。
演習ⅢA	神山静香	すべての項目で肯定的な評価をいただき、ありがとうございます。 アンケートの自由記述では、「ディスカッションテーマに沿って、問題の分析を自分の考えだけでなく逆の立場で行うことができた」、「ニュースを見ていて、株や国際的な事柄に対する意識の仕方が変わった」などの意見をいただきました。また、授業を通じた成長が実感できたとの項目で肯定的な回答があり嬉しく思います。 対面・オンラインなどの授業手法にかかわらず、ゼミ生の皆さんが主体となってゼミ活動を行うことができるよう新しい取り組みを導入しつつ、一人ひとりが目標を達成できるようサポートしていきたいと思っています。
演習ⅢA	谷内篤博	ゼミの内容が難しすぎるのか、一部、評価点が低い項目が見受けられる。後期はその点を考慮に入れ、ゼミ展開を図りたい。
演習ⅡA	駒谷真美	この講義は、PBLのグループワークがメインで、3年生（現4年生）が制作した人間社会学部を紹介するデジタルブックJinsha GuidebookのSNS展開を企画し実践するものであった。 2年生ではかなり深慮する高度な内容であったにも関わらず、履修生は積極的に取り組み、Z世代の斬新なアイデアで企画を実現できていた。履修生の大多数は、毎週チームで考えた課題を試行錯誤しながら解決し、ブリーフプレゼンで途中経過を発表し、互いにフィードバックし、ZoomのブレイクアウトルームやゼミLINEでディスカッションを深めて、高め合っていた。これらの蓄積が、履修生たちの成長実感がかなり高く、自身の達成感につながったと思われる。
演習ⅣA	標葉靖子	適宜個人面談をしていますので、意見・要望等あればその機会に遠慮なく申し出てもらえればと思います。
国際関係概論	神山静香	授業の理解度や授業を通じた成長などの項目で肯定的な評価をいただきありがとうございます。アンケートの自由記述では、①法律について興味を持った、②興味のある分野なので学べてよかった、③今まで触れてこなかった国際問題について新しく知ることができた。日本と他国の関係の中での問題を知ることができた。国際法について様々なものがあることを理解することができた、④世界の現状を知るきっかけになった、⑤国際的に規律や法を制定する難しさが分かった、⑥主権国家同士であるがゆえに起こる法整備の難しさなどについての知識がついたなどの意見をいただきました。授業手法については対面授業を希望する意見が多くありました。 これらの意見は次年度に反映させ、オンデマンド型の授業であっても対面同様にわかりやすく説明することを心がけたいと思います。また、予習復習のための教材をより積極的に提示していきたいと思っています。
マーケティング論	井上綾野	オンライン、対面の切り替えで戸惑われていた方も多かったようですが、最後に復習する時間を取ることができてよかったです。
産業・組織心理学	松浦常夫	対面でなかったにも関わらず、レジュメを理解していたようで、よかったです。
キャリア・デザイン論	吉田雅彦	キャリアデザイン、企業研究、就活について、理解が深まり、視野が広がったというコメントを多くいただきました。誰もが通る道ですが、正しい知識を持っていれば、正しく対応できます。幸運を祈っています。

【2021（前期）人間社会学科 現代社会学科】授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
演習Ⅲ A	標葉靖子	ゼミのなかで柔軟に対応していければと思いますので、意見・要望があればいつでも遠慮なく申し出てください。
商法概論	神山静香	授業の理解度、授業のスピード、説明のわかりやすさ、授業を通じた成長などの項目で肯定的な評価をいただきありがとうございました。 アンケートの自由記述では、①会社やビジネスに関する法律についての理解が深まり、法律についての関心が高まった、②授業内容のほとんどが知らない内容だったため積極的な姿勢で学んだ、③どちらが正しいのか難しい問題が多く、客観的に考える力が身についた、④会社の構成など、就職する際に必要な情報を学ぶことができ、今までに知らなかった様々な法律について知ることができた。⑤社会に出て会社を運営する際の注意点を学ぶことができた、⑥契約の締結に関する基本知識や注意事項を理解することができた、⑦授業内容に興味を持ってとった科目だったため、すごく楽しく授業を受けることができ、全体を通して興味を持って取り組めたなどの意見をいただきました。次年度も履修者の皆さんが授業内容に興味をもち、積極的な姿勢で授業に臨むことができるように授業を実施したいと思います。 次年度の課題として、授業では新しい知識の修得により多くの時間を配分できるよう、授業時間外での復習教材などを積極的に配布するようにしたいと思います。
心理学実験 I	栗津俊二	全項目（学生自身の自己採点除く）の平均値が4.5以上であるため、授業方法等に特に問題は無いと考えます。課題が重かったため、平均学習時間もそれなりに長く大変だったと思います。皆さん、よく頑張りました。
演習Ⅲ A	角本伸晃	今年も新型コロナウイルス感染禍のために、ゼミ遠足や大学祭への模擬店の出店を取り止めることになりました。しかし、東京サマーランド様との産学連携は前期最後の授業でキックオフミーティングを開くことができました。 大問ⅡとⅢで4.75や5.00の高評価を得たのは、このような状況下を割り引いてくれたことだと思います。 後期はこのような評価に違わぬように、産学連携を中心としたゼミを充実させたいと思います。
演習Ⅲ A	松浦常夫	対面が少なかったのが残念です。
演習Ⅲ A	高橋美和	全体的に平均を超えており、まずまずの内容だったと言えます。Zoom授業の期間もありましたが、基本的なゼミワーク（文章の批判的検討・発表・意見を述べるなど）の向上を実感できていることが自由記述回答からわかり、頼もしく感じました。実際、一人一人向上しています！後期、卒業研究の準備に向けて協働力ががんばりましょう。
社会科学データ分析	竹内光悦	お疲れさまでした。R という初めて触る統計ソフトの人も多かったと思いますが、回答者の回答を見る限りはおおむね好意的な印象だったように感じ、ほっとしました。オンデマンド型指示が高いことも良かったです。自由回答もオンデマンドで（むしろそっちの方が）よさそうですので、このままより工夫していきたいと思います。
福祉心理学	仁田雄介	学生の皆さん 講義アンケートに回答していただき、ありがとうございました。多くのみなさんに講義に満足していただけたようで、大変嬉しく思います。今回の講義では、オンデマンド講義ということもあって双方のやりとりをあまり増やすことができなかったため、今後講義を実施するにはその点について改善したいと思います。 今後ともどうぞよろしくお願いいたします。 仁田
メディア社会論	駒谷真美	本年度から100分授業となり、5限目の開始時間が17:00で終了時間が18:40となった。履修学生にとって、疲れがマックスに溜まる時間にも関わらず、第14回まで真面目にかつ積極的に取り組んでくれた。毎回メディアに関わる重要案件について、responのイントロ・ブレイクアンケートやりフレクシオンシートを一生懸命に考えて回答してくれた。特に、アドミュージアム東京の公共広告と、テレビ朝日のコロナ禍の災害報道については、Zoomのゲストスピーカー講演とレポートを課題にしたが、果敢に参加してくれた。 その結果、大人数のZOOM講義でも、全項目において全体平均と当該区分平均を上回る評価を得たことは、履修生たちの成長を感じられ、大変喜ばしい。教員として今後の励みとしたい。

[2021 (前期) 人間社会学科 現代社会学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
メディア情報リテラシー	駒谷真美	本講義は、今年度から「メディア情報リテラシー」と講義名を変更し、さらに情報社会の根幹を理論的に追究するかなり難易度の高い講義内容となった。PBL・アクティブラーニング・ピアラーニングの手法を取り入れて、履修生全員が主体的に参加する形態にした。「女性とメディア」について、#Metooや生理の貧困などのトピックを履修生の希望に寄り添って取り上げた。その結果、履修生たちは、メディアからの一方的な情報を鵜呑みにすることなく、次第に自分たちの視点でグループディスカッションとプレゼンを行えるまでになっていた。 履修生が個人とグループ、両方の立場で深慮しながら真摯に取り組む姿が、PBL・アクティブラーニング・ピアラーニングで促進され、本講義の目的である「クリティカル・シンキングの基盤となるメディア情報リテラシーの育成」に繋がったと考える。
演習Ⅲ A	吉田雅彦	日本経済新聞の読解や、論文の書き方の課題を良くがんばりました。リクレーションも、学生で企画して親睦を図ることができました。
演習Ⅳ A	山根純佳	この授業の理解度について「とてもよくあてはまる」の回答が0であったことから、わかりやすい説明や十分な質問時間の確保に努めたい
英語コミュニケーションⅡ A	阿佐美敦子 ライト, アレックス	真摯に授業に臨んで下さって、ありがとうございました。こちらのクラスでは平均欠席回数が0.14回で、ほぼ0回、全出席と考えて良いと思います。こうした態度を続けていただけるよう、出席したくなる授業の展開を努力します。また、説明のわかりやすさについて、全員が「わかりやすかった」と回答し、とても嬉しく思いました。さらに、必修科目でありながら、6割を超える皆さんがこの分野をもっと学びたいと答えて下さっているため、3年次も頑張っていたきたいと思います。
人材開発論	谷内篤博	全体的には4.5前後で一定の評価は得られると思うが、板書等が見にくいなどの指摘があるので、読みやすい板書に務めていきたい。パワポ、OHCなどを活用したいと思う。わかりやすく、興味のもてる授業にしていきたい。
演習Ⅲ A	井上綾野	回答者数が少なかったことが残念です。
経済学概論	吉田雅彦	かなり高度な内容まで踏み込みましたが、ほとんどの人がマスターできました。チャレンジ学修で、応用も学んだ学生も予想より多かったです。立派でした。
演習Ⅳ A	金津謙	貴重なご意見ありがとうございます。
演習Ⅱ A	数野昌三	演習Ⅱ A (6クラス) では、レジュメの書き方、プレゼンの仕方、レポートの書き方について復習しました。そして班分けし、1名3回ずつのプレゼンを2回のパワポを含め実施しました。それらに加え、ディベートに準じたプレゼンには、クラス全員での努力を見ることができました。これからの時期、専門ゼミ選択に向け、各人選択理由をしっかりと考え、希望する専門ゼミへと繋げていきましょう。
簿記論Ⅰ	蔣飛鴻	総合評価では全体平均の4.29に対して、この科目は4.57と高くなっており、すべての項目においても平均をかなり上回っています。今後もよい講義を継続できればと思います。ご回答どうもありがとうございました。
演習Ⅲ A	時田朋子	回答者が非常に少ないので、ここではコメントはしません。何かあれば、直接お知らせください。 授業形式が対面であったり双方向であったりして、やりにくいこともあったかもしれませんが、全体的にはうまく適応して頑張っていたと思います。後期はさらにパワーアップしましょう！
演習Ⅲ A	高木裕子	評価を拝見し、ゼミはやはりコミュニケーションを活かした「対面」であるべきだと強く思いました。コロナ収束を待っててください。それができなくても、本来の形態に近づけていきます。
人間社会学総論	広井多鶴子, 谷内篤博 山根純佳, 角本伸晃 駒谷真美, 高橋美和 神山静香, 井上綾野	アンケートの自由記述には、①様々な分野を学んで、自分の関心を広げることができた、②社会で役立つ知識が身につく、自分のキャリアについて考えることができた、③人間社会学部について理解することができ、学科選択の参考になった、といった声がたくさん書かれていました。この授業の目的は十分達成できたのではないかと思います。 授業方法に関するみなさんの要望については、教員間で共有し、改善していきます。
演習Ⅳ A	角本伸晃	今年度の前期も新型コロナ感染拡大によって多くの授業を対面で行うことができず、十分な卒論指導をできたとは言いがたい状況でした。それにもかかわらず、問15の総合満足度は4.80と高い値となりました。これはゼミ生の努力の裏返しだと思います。その意味で、問14の自己評価3.80は辛いような気がします。後期は卒論の完成に向けてきめ細かい指導を心がけたいと思います。

【2021（前期）人間社会学科 現代社会学科】授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
演習Ⅲ A	数野昌三	法律が少しずつ身近に感じられるようになってきた頃と思います。2022年度ビジネス実務法務検定試験、ゼミ生全員合格を目指し、1人1人みんなと一緒に努力していきましょう！お手伝いをしますので。
心理学概論	竹内美香	<p>心理学は大学で初めて開始される科目の一つです。最初から申し上げたとおり「概論」ですので、とにかく心理学がどのようなことを扱おうとしているか、どのような手法で課題を分けて、科学的手法、すなわち論理的な仮説を立てて、他者が追認できる形でデータとして測定し、そこから元々の課題(問題)の解答に還元するか、そのアプローチのスタイルをまず知って頂くとしています。「心理学概論」では、「情報処理機構(システム・系)としての人間(生活体)」について、近接する生物学や生理学、医学などの学問も含む多領域の情報も織り込みながら説明しているのです。</p> <p>毎回、授業で学んだことを2つ選択して書き込んで頂くワークシートを実施しました。14回すべての授業回で提出を課しましたが、大方の皆さんがよく頑張ってくれていました。特に授業期間の中盤頃から、書き込まれる問題意識や論旨の展開に深まりが出て、教員であり研究者でもある講義担当者の私も啓発されることが多くなりました。また、授業直後の提出から同日夜までの提出という形に変遷した効果でしょうか、J-stageや日本心理学会の「心理学ミュージアム」やその他専門学会のwebページで紹介される動画や資料を読み込んで、さらに調べてワークシートに書き込む人もあり、教員としても励まされました。素晴らしいです。全般的な注意点があらしたら・・・誤字が多いということと、提出ファイルを間違えるのか空ファイルを提出して探点対象にできないケースが時々あったということでしょう。確認は、社会人になっても「必須科目」です。お互いのことではあるのですが、とにかく今から気をつけましょう。信頼性という基礎点が減ってしまいます。</p> <p>2021年度前期も授業は対面、遠隔、また対面と、方式が感染症対策で変遷しました。対面型にも遠隔型にも利点があることがわかりました。状況が状況ですので、おかれたところで最善の取り組みをするしかないのだということと、全員で体得したのだとポジティブに捉えたいと思います。さらにさらに学んでください。この状況下で学びを止めることなく継続できたのは受講生の皆さんのおかげです。ご協力に感謝します。</p>
演習Ⅱ A	蔣飛鴻	平均より下回った項目もありますが、総合評価では全体平均の4.29に対して、この科目は4.38となっております。今後もよい講義を継続できればと思います。ご回答どうもありがとうございました。
学習・言語心理学	粟津俊二	全項目(学生自身の自己採点除く)の平均値が4.0程度以上であるため、授業方法等に特に問題は無いと考えます。週当たりの平均予習復習時間が1.5時間を下回っており、学習時間が少なかつたようです。ただ、課題を増やすべきかどうか、難しいところではあります。
会計学総論Ⅰ	蔣飛鴻	今回はリモート授業のため、例年の対面授業よりかなり低い評価となっている部分があります。この点について反省し、今後授業の進め方を改善していきたいと思っています。ご回答どうもありがとうございました。
社会調査概論	竹内光悦	お疲れさまでした。本科目は社会調査の導入の授業ですが、おおむねこの分野を学ぶきっかけは伝わったようでしたので、よかったです。授業形式や本授業への意見もいくつかありましたので、参考にしていきます。
演習Ⅳ A	広井多鶴子	全員が自分の成長を実感できたというように答えている点がとても良かったと思います。学習時間もかなり長く、みなさん、卒論執筆に向けてよく頑張ったのだと思います。この調子で、卒論を完成させましょう！
英語コミュニケーションⅡ A	ミラー、ブルース 富倉教子	アンケート確認しました。貴重な意見をありがとうございます。いただきました意見を参考に今後に生かしていきたいと思っています。

【2021（前期）人間社会学科 現代社会学科】授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
演習Ⅲ A	竹内美香	<p>2021年度を全面的に対面型で授業展開することは大学全体の悲願でした。しかし、やはり2021年度前期も途中からリモート型に移行することとなりました。演習Ⅲでは、極力メンバーの進路の相談に個別対応しながら、学修コンテンツについては、逆にメディア授業だからこそ丁寧に取り組んで頂けるデータ解析課題に集中することとしました。途中、双方向で、このインストラクション・セッションを試みましたが、これについては教室設備で行うことは同じではないことに気づき、課題への取り組みは個別に、という形になりました。苦心されるところも多かったと思います。よく頑張って全員が「目標地点」に到達できたと思います。感謝します。</p> <p>課題では、心理・社会調査データの基礎解析処理の際にExcelシートをどのように扱ったらよいか、自分の力で実習し学んで頂くことが出来たはずですが、これは逆に対面型のゼミでは（教室設備の利点ははともかくとして）、実際は十分にできていなかった取り組みでもあったのです。そのためにテキストを書き、2021年度も改訂に改訂を重ねて、皆さんの学習用に提供しました。実はこれは今後の卒業研究に必須のテクニックとしての内容ですから、本当に「自分でできる」ようになっていて頂きたい基本中の基本なのです。ぜひ時々復習してみてください。</p> <p>皆さんとの演習は、これからが本番です。さらに学びを続けましょう。真摯に誠実に仲間と逢えるゼミの時間を大切にしながら、それぞれの課題に取り組んでください。就活に、卒業研究に、さらに課題が生起して来ますが、さらに学び続けましょう。</p>
地域社会学	原田謙	<p>スピード、説明のわかりやすさ、配布資料のわかりやすさは、4.6点を超えており、総合的な満足度も4.52点と比較的高評価だったようです。皆さんのresponの回答もとても参考になりました。</p>
民法概論	数野昌三	<p>「民法概論」では、民法の歴史・基本原則とその修正、債務不履行、売買契約、消費貸借契約、賃貸借契約などに加え裁判員制度にも触れました。このようなことから日常生活上、リスクを最小限に抑えるためには民法を学んでおくことが今後の生活では必要ということが理解できたと思います。</p> <p>授業に関して対面の方がオンラインよりも理解しやすかったという意見が多くありました。</p>
演習Ⅳ A	谷内篤博	<p>回答者の満足度は非常に高く、後期も継続していきたい。卒論完成に向け、きめ細やかな指導を心掛けたい。</p>
行動科学	松浦常夫	<p>対面でなかったため、またコメントにも限界があつて、理解が難しかったようです。</p>
社会言語学	高木裕子	<p>分析調査が多かったにもかかわらず、よく学習課題をこなし、また、対面かそうでないか、わかりづらい授業の時もあったにもかかわらず、課題内容はよかったです。これからも社会言語学に興味を持って頂けるように、メディアでの提示方法やわかりやすい説明の仕方を工夫します。</p>
演習Ⅳ A	蔣飛鴻	<p>総合評価では全体平均の4.29に対して、この科目は5.00となっております。今後もよい講義を継続できればと思います。ご回答どうもありがとうございました。</p>
演習Ⅲ A	駒谷真美	<p>履修生11人中回答者は3名のため、統計的な分析と考察は控える。</p> <p>全体的に今期のゼミ生は、コロナ禍で度重なる非常事態宣言の中でも、とても活発に参加してくれている。大学公認ラジオ番組「渋谷のJJラジオ」のメインパーソナリティが、本年度からゼミ生になり、本格的に番組制作に関われるようになった。非常事態宣言の中、企業にZOOMインタビューしたり、ラジオ生放送中にTwitter投票したり、工夫しながらベストを尽くしている。</p> <p>ゼミ全体の活動も率先して行っている中、自分の卒論テーマについて先行研究や文献にあたり、最終的にオリジナリティに富んだテーマを選定できていた。この試行錯誤のプロセスを体験したことで、今後の卒論や就活活動に際してのレジリエンスにつながってくれると思う。</p>
英語コミュニケーションⅡ A	阿佐美敦子 マルチェフ、ミレン・アンゲロフ	<p>真摯に授業に臨んで下さって、ありがとうございました。こちらのクラスでは平均欠席回数が0.2回で、ほぼ0回、全出席と考えて良いと思います。こうした態度を続けていただけよう、出席したくなる授業の展開を努力します。一方で、授業が理解できたかを問う質問には、半数の方が肯定ではない回答をされているので、後期では理解を深められるよう工夫します。こちらは必修科目でありながら、6割を超える皆さんがこの分野をもっと学びたいと答えて下さっているため、3年次も頑張っていたいただきたいです。</p>
演習Ⅲ A	竹内光悦	<p>回答数が少なすぎますので、まずはそこからの改善を目指します。後期も頑張りましょう。</p>
演習Ⅳ A	吉田雅彦	<p>就活と卒論の準備を良くがんばっています。</p>
リーダーシップ開発B	標葉靖子	<p>COVID-19の影響で授業形態が対面から双方向に変更になるなど、状況の変化に柔軟に対応してもらっていたと思います。難しい状況ならではの経験は、今後大いに生きてくると思います。皆さんの活躍を期待しています。</p>

【2021（前期）人間社会学科 現代社会学科】授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
演習ⅢA	蔣飛鴻	平均よりやや下回った項目もありますが、総合評価では全体平均の4.29に対して、この科目は4.67となっております。今後もよい講義を継続できればと思います。ご回答どうもありがとうございました。
アジア文化論	高橋美和	数値的にはほぼ平均と一致しており、大きな問題はなかったと考えます。「ほとんど知識のなかった東南アジアのことがよくわかった」「多様な文化や宗教に興味をわいた」など、新しい学びがあり、しかも楽しかったとのコメントをいただき、嬉しかったです。比較的人数が少なかったため、Zoomの回ではあてて発言していただきましたが、それについて「嫌だった」というコメントはなかったため、ほっとしました。
観光事業論	角本伸晃	課題発表会はチーム数の関係から2回に分けて行い、その内の1回が私の思引きのためにオンデマンドとなり、履修者にはかなりご迷惑をおかけしたこと申し訳なく思います。それにもかかわらず、問15の総合満足度が4.58とかなり高い評価となったことはひとえに履修者の優し心遣いと感謝する次第です。
経営分析論	蔣飛鴻	今回はリモート授業のため、例年の対面授業よりかなり低い評価となっている部分があります。この点について反省し、今後授業の進め方を改善していきたいと思っております。ご回答どうもありがとうございました。
演習ⅣA	竹内美香	2021年度を全面的に対面型で授業展開することは大学全体の悲願でした。しかし、やはり2021年度前期も途中からリモート型に移行することとなりました。演習Ⅳは実際のところ、春季期間からこのような事態も予測し、卒論のための調査も電子回答収集のできるGoogle Formでの設計を開始していたので、感染状況の実害を被ることなく済みました。気になるのは個別の進路相談など、ゼミのもう一つの「ホーム」としての機能ですが、いかがだったでしょうか。これからでも、何か教員にできることがありましたら、気軽に声をかけてください。上にも書きましたが、長年、紙ベースで実施してきた卒論調査を昨年度について2021年度も前期中にGoogleFormで実施できました。他ゼミに先駆けての早い取り組みで貴重なことと思います。回答紀要力してくれた後輩さんたちに対する感謝も忘れないようにしてください。感謝して丁寧に解析して卒論を書いて頂きたいものです。GoogleFormが作れるようになりましたね。ゼミの取り組み成果の一つとして、あなたが誇れることです。3年生の時からゼミで積み重ねた知識やスキル、仲間支援の姿勢も大きな価値でした。つまり卒業研究のための下準備が大きな意味を持っていたと思います。後期がどんな社会情勢であっても、さらにさらに努力を積み重ねてゼミ生全員で幸せになりましょう。自信をもって、執筆に励んでください。一緒に頑張りましょう。 ところで、授業アンケートの回答率が異常に低いですね。他者にアンケート回答を依頼する立場の我がゼミ生が、そんなことでよいのでしょうか。回答いただいた方、ありがとうございました。
演習ⅣA	神山静香	回答では、すべての項目で肯定的な評価をいただきありがとうございました。教員からの告知が十分でなく、アンケートの回答が少なかった点について反省しています。例年に比べ、対面による指導の回数が少なく理解度において課題が残ったと思いますが、オンラインを効率的に活用しながら、一人ひとりとコミュニケーションを密にとり、理解度を高めるよう心がけたいと思います。
消費者保護論	金津謙	貴重なご意見ありがとうございます。毎回のレポートは添削して返却したいのですが、毎週700通のレポートを採点するだけで精一杯でした…何かしら工夫する必要があると思います。
ソーシャル・デザイン・プロジェクトB	標葉靖子	複雑な問題を読み解き、課題を定義し、その解決をデザインする一連の思考・実践プロセスが、グループでの活動を通して皆さん自身のものとなっていると嬉しく思います。COVID-19の影響で、対面とZoom双方の両方のグループワークを経験し、対面コミュニケーションの強さもまた認識されたかと思えます。一方で、Zoomでのコミュニケーションは、今後、大学での学修のみならずビジネスや社会活動の中でも活用され続けていくと思えます。対面、Zoomそれぞれの特性を活かしてグループワークを遂行していく力をさらに磨いていってほしいと思います。

【2021（前期）人間社会学科 現代社会学科】授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
発達心理学	竹内美香	<p>よく授業内で使ったフレーズは「揺りかごから墓場まで」という言葉でした。発達心理学では、以下の長い長い過程を辿って講義を組み立てました。即ち、お母さんの胎内に宿る原初の胎児の生命活動から、生まれて、社会的関係性の中で身体の生理的機能に基づき認知的システムが構築され、高度な認知機能や社会的スキルを獲得するまでを辿りました。中でも赤ちゃん時代とお母さんをはじめとする養育者との相互作用は、「発達心理学」の中では扱べきトピックが多すぎますね。例年この科目は「赤ちゃん」のまま成長しないまま終始してしまうほどでしたが、2021年度は受講生の皆さんからワークシートで内容の濃いフィードバックを随時受け取ることが出来たこともあり、予定どおり胎児から老年期の「人生との和解」まで、生涯を展望することが出来ました。授業担当者としては安堵しています。</p> <p>発達心理学も、「情報処理機構（システム・系）としての人間（生活体）」について、近接する生物学や生理学、医学（特に産婦人科と精神医学）などの学問も含む多領域の情報を織り込みながら説明しています。人間はトータルで大きな「独立系」です。社会的な人間関係は、その独立系が相互に絡み・影響し合っていることで生じる貴重なイベント（出来事）なのです。イベントは多様で、一つとして同じものはなく、興味は尽きません。</p> <p>提出、改善点についてのご意見を踏まえ、講義内容に修正・アップデートを実施しました。ほぼすべての授業回で提出を課しましたが、大方の皆さんがよく頑張っていて書いていました。2年生以上の科目ですので、さすがに書き込まれる問題意識や論旨の展開には深いものが多く、教員であり研究者でもある講義担当者の私も啓発されることが多かったです。また、授業直後の提出から同日夜までの提出という形に変遷した効果でしょうか、j-stageや専門学会のwebページまで情報を取りに行きさらに調べた正しい情報をワークシートに書き込む人もあり、教員としても問題を再確認するなど、非常に励まされました（そういう素晴らしい履修者もいらっしゃったことをここに書き留めます）。一方、全般的に注意点があらうとしたら・・・誤字が多いということでしょうか。PCで書くことと誤変換がありますので、このあたりの確認が必要と痛感します。社会人になってからの確認ミスは、信頼性という基礎面に響きます。お互いに、ということなのですが、とにかく気をつけましょう。</p> <p>2021年度前期も授業は対面、遠隔、また対面と、方式が感染症対策により変遷しました。対面型にも遠隔型にも利点があることがわかりました。状況が状況ですので、おかれたところで最善の取り組みをするしかないのだということ、全員で体得したのだとポジティブに捉えたいと思います。さらにさらに学んでください。この状況下で学びを止めることなく継続できたのは受講生の皆さんのおかげです。ご協力に感謝します。</p>
演習ⅣA	井上綾野	<p>回答者数が少なかったことが残念ですが、卒論の執筆が進んだことはとてもよかったです。</p>
演習ⅣA	粟津俊二	<p>全項目（学生自身の自己採点除く）の平均値が5.0だ！！と思ったら、回答者数1でした。満足してくれた人が一人でもいてくれて、良かったです。</p>
流通サービス論	井上綾野	<p>オンデマンドの音声は人工音声のため、抑揚が少なく聞きづらいこともあったかと思います。次年度以降の課題としたいと思います。</p>
ワーク・ライフ・バランス論	山根純佳	<p>双方向授業における工夫について、全員が満足するように努力したい。</p>
演習ⅣA	駒谷真美	<p>ゼミの卒論活動については、履修生4年生13名（1名米国留学中）は、3年次後期から4年次前期にかけて、アンケートの調査や文献分析を行っている。同時に、コロナ禍で度重なる緊急事態宣言の中、就活で多忙を極め心身ともに疲弊している。よって、1名でも回答してくれただけ有難い。</p>
社会学概論	原田謙	<p>一部オンデマンド型の授業になりましたが、授業の内容と方法に関する評価はすべて4.5点を超えており比較的高評価でした。少しでも社会学に興味を持ってくれた学生は、来年度以降の選択科目も積極的に履修してください。</p>
国際NGO論	神山静香	<p>授業の理解度や説明や資料のわかりやすさ、声の聞き取りやすさ、授業を通じた成長の実感などの項目で肯定的な評価をいただきありがとうございます。</p> <p>アンケートの自由記述では、①世界の貧困問題などをより知ることができ、関心が高まった、②実際の事例などを取り上げながら動画などを見て授業を進めていただいたため、興味を持ち続けることができたとの意見をいただきました。このような点については次年度も継続して実施していきたいです。</p> <p>授業期間の途中でオンライン授業や対面授業への変更が何度か生じましたが、授業手法への意見として、「対面型の方が直接話を聞け、理解度が深い」という意見やオンデマンドと双方向を組み合わせた授業のメリットとして「資料のURLなどをその場でチェックできるほうが、学習効果が高い」などの意見が挙げられていました。</p> <p>また、授業の内容について「たくさんNGOの具体例を挙げて紹介してほしい」という意見もありました。</p> <p>これらの意見については、次年度の授業に反映させたいと思います。</p>

【2021（前期）人間社会学科 現代社会学科】授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
メディア・コミュニケーション論	標葉靖子	<p>本授業に対する評価・満足度が二山に分かれていることをとても興味深く思います。</p> <p>授業の改善を希望する点について、配信動画の合計時間が授業時間の100分を超えた回が2回あったこととお詫びします。なお本授業の全14回授業で配信したオンデマンド動画の総時間はおよそ16時間となっています。14回のうち1回は授業内テスト、1回はレポート課題で動画なしだったことから、講義回数は12回であり、1回あたりの授業時間は平均75分です。本来の授業時間は100分ですので、トータルとして授業時間を超過していた訳ではないこととはご理解ください。（もちろん、1回の授業時間が100分を超えることは無いよう、今後は気をつけていきたいと思っております。）</p> <p>なお大学の授業は、1単位当たり45時間の学修を必要とすることが大学設置基準により定められています。本科目は2単位の科目であり90時間の学修が必要となります。テスト時間を含めても授業時間は18時間弱でしたので、残りの70時間分、しっかりと課題に取り組んでくれていたことを期待します。（毎回の提出物や最終レポートからは、全員ではありませんがしっかりと取り組んでくれていた学生の存在がうかがえ、とても嬉しく感じています。）</p>
文化人類学	高橋美和	<p>数値としては特に低い項目はなく、特に問題はなかったかと思えます。自由記述で「異文化について興味がわいた」「自文化を見直せるようになった」「普段から"なぜ"と考える癖がついた」など、嬉しいコメント続出でした。一方、コメント数としては少ないですが、①授業資料を授業前に公開してほしい（←内容の詳細を知らない方が楽しめたいと思うてそうしていたのですが・・・）、②最初の数回に内容を詰めすぎていてメモをとるのがたいへん というご指摘をいただきました。今後の参考にさせていただきます。ありがとうございます。また、Zoom実施時の授業内レスポンス「考えてみよう」は好評でした。毎回実施すればよかったですね。</p>
演習ⅡA	谷内篤博	<p>全体的な評価は4.5前後で一定の満足は得られたのかと思います。2年生にとっては、かなり幅広い、高度なテーマで学習は大変だったと思いますが、学生の皆さんを成長した姿を見ることができました。</p>
演習ⅣA	高橋美和	<p>回答率が低いながらも言えませんが、個人指導を主としたゼミの進行方法に特に問題はないように感じます。夏季休暇中にフィールドワークを実施し、後期はまとめに入ります。しっかり伴走しますので、全員にがんばっていただきたいです。</p>
演習ⅡA	竹内美香	<p>2021年はゼミや講義科目を対面型で開始したのですが、いつの間にか感染者数が増加し、またしても途中からオンデマンドとリモート型に移行しての授業実施となりました。そしてまた途中から対面型に復帰するなど、教員も学生も時流に翻弄されることとなりました。</p> <p>このようなことを長々と書いているのは、今回の演習Ⅱで皆さんと取り組んだテーマを「感染症と社会」としていたからです。状況を受動的に受け取るだけでなく、能動的に自分で情報を収集し、総合して考え、自分自身の行動を自分が決めること、そしてその成果を他者に発信して他者と共有し、新しい考えを創造することを目指したのが演習Ⅱにおける課題でした。調べてレポートを書くことそのものは（容易くはないでしょうけれど）大学生なら出来て当然。</p> <p>演習で、仲間と学ぶ真髄は、その先でしょう。調べてまとめたデータ（情報）を「素材」として持ち寄り、他者と協働して発信コンテンツにまとめることは大学のゼミという場面でなければ体験しにくいことと考えています。皆さんは仲間で協力して、各人のレポートから持ち寄った情報で、素晴らしいプレゼンテーションに仕上げて来ました。1つのテーマを2つの班で競合させる面白さと扱える情報が広がる利点も、実際に体験できたと思います。各回のポジティブ・シートに、そのことがよくまとめられていました。</p> <p>第二の「正解のない課題」は第一課題とはかなり異なるグループ課題です。決まりきった「正解」は存在しないコンテンツで、大切なのはグループメンバーが如何に自他の考えを展開し、創造的な発信につなげることができるかです。つまり解答以上に過程が大切という課題です。「第二課題は新しい課題なので、グループを刷新して再編成もよかったのでは?」というご意見も頂きました。そのとおりです。ただ、今回は教室で対面できる状況について不安定な背景があり、そのような条件下で新しいグループメンバーが正課外時間を確実にとれるのかという不安もありましたので、今年度は第一課題のグループを第二課題でも継続しました。</p> <p>難しい背景状況の中で、クラス全員がそれぞれの努力で大学ゼミらしい充実した取り組みにすることができました。皆さんにはさらに学んで頂きたいと思っております。そして、せっかく書いた第一課題「感染症と社会」のレポートですが、この問題、続編、続々編が今も続いています。時々、情報を書き足してご自分の手元にアーカイブしておくことをお勧めします。</p>
社会調査実習Ⅰ	竹内光悦	<p>おつかれさまでした。コメントを見ていると、大変な授業というイメージはなくてもいいですが、いろいろと工夫している感があり、それも大事だと思います。ちなみに他大学でももっと大変なところもあり、緩いところもあり、本学はちょうど真ん中ぐらいかなと感じています。ただ社会でのプロジェクトはこのレベルではなくもっと激しいと思いますので、あきらめずに力をつけていければと思います。後期も頑張りましょう。</p>